

学習活動ごとにみたツール(LMSとSNS)選択のための指標 裏面

	LMS	SNS	まとめ
連絡	○ 情報の表示が時系列ではないので、過去のお知らせなども簡単に見つけることができる。また、ロールの設定ができるので、教員のみがお知らせを掲載することができるなどの制限をかけることができる。しかし学生側の利用頻度や魅力が高くないので、そのお知らせを見るところは限らない。 <i>Moodle: 掲示板機能を利用</i>	○ 学生の利用頻度や魅力が高いため、お知らせなどを細めにチェックする可能性が高い。しかし、情報の表示が時系列なので、過去のお知らせなどを探すことは難しい。 <i>Facebook: グループ内の投稿機能を利用</i>	課題の連絡など何回か確認する可能性が高い情報に関してはLMSを利用し、それ以外の軽い連絡についてはSNSを利用した方がよい。
情報共有	○ 掲示板などで情報の共有をすることができるが、学習者以外からの関与は発生しない。 <i>Moodle: 掲示板機能を利用</i>	◎ 日常の中で簡単に情報を投稿できるようなデザインになっているので、学習者自ら情報共有をする可能性が高い。 <i>Facebook: グループ内の投稿を利用</i>	問題がない限りは、SNSで情報共有をした方がよい。
議論	△ データの保持ができるので、次年度に参照をすることができる。ただ学習者同士の交流は工夫をしない限り発生しにくい。 <i>Moodle: 掲示板機能を利用</i>	◎ コメント機能などを利用することで容易に意見交換を行える。またグループを公開することで、学習グループ以外からのコミュニケーションも発生する。ただ、データの保持はサービスが終了すれば、二度とみることができない。 <i>Facebook: グループ内の投稿機能と投稿に対するコメント機能を利用</i>	議論の内容を確実に次年度も確認できるようにする必要がある場合などを除いて、SNSを利用した方がよい。
成果物管理	◎ ロールの設定ができるので、提出した課題が他の学習者には閲覧できないように設定することもできる。また、データの保持ができるので、提出された課題などを半永久的に保管することができ、次年度に役立てたり、ポートフォリオで利用することができる。 <i>Moodle: 課題機能を利用</i>	△ 投稿をする際にファイルを添付することで課題の提出などはできるが、データの保持や過去の情報の検索が困難である。また、ロールの設定ができないので、他の学習者が提出した課題を閲覧できないように設定したくてもできない。 <i>Facebook: グループ内の投稿機能のファイル添付機能を利用</i>	他の学習者が提出した課題に対してコメントをするなどの共同学習の場合はSNSでもよいが、LMSを利用した方がよい。
成績管理	◎ 成績管理をするための機能が実装されているので、容易にできる。 <i>Moodle: 評価機能を利用</i>	× SNSのはそのような機能がなく、あったとしてもデータの保持ができない。 <i>Facebook: 該当なし</i>	SNSには成績管理の機能はないので、LMSを利用した方がよい。